

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	浄水場施設耐震化事業		担当部署	企業局 水道企画課	
総合計画体系			根拠法令計画など	水道法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 21年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると			21年度
(小項目)		上水道		終期	未定
施策	3	安全で安心な水の安定的な供給			
基本事業	3	災害対策等の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市浄水場施設、配水池施設、送水管などの基幹管路の耐震化。														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市浄水場施設の更新や、水を供給するために必要となる配水池や基幹管路を耐震化を行い、「安全・安心」な水の供給を確保する。														
事業計画	26年度に何を計画していたか	平草配水池の築造を行うとともに、浄水場更新に向けて現況把握や浄水方法・位置比較検討などを内容とする事前調査を行う。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震性能確認済みの浄水処理能力</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>m³/日</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位	耐震性能確認済みの浄水処理能力	0	0	0	0	0	m ³ /日
指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位										
耐震性能確認済みの浄水処理能力	0	0	0	0	0	m ³ /日										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	浄水場更新に向けて現況把握や浄水方法・位置比較検討などを内容とする事前調査を行うとともに、浄水場更新事業専門研究会を開催し、専門家による検討を進めた。 また、平草配水池築造工事や老朽管更新事業を実施した。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	浄水場更新業務実施数	0	0	1	1	1	件
	2	耐震化事業実施数	3	2	4	4		件
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	耐震性能確認済みの浄水処理能力		0	0	—	—	—	m ³ /日
	目標達成率(実績/目標)			0.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	224,100	10,000	214,323	448,423
		全体予算額	0	0	272,300	10,000	214,356	496,656
		決算額	0	0	241,600	33,786	76,686	352,072
		繰越額	0	0	0	0	112,222	112,222
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
		3.0	0.0		20,634		372,706	

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	128,918	352,072	122,389	-	-
	うち一般財源	92,318	76,686	122,389	-	-
	人件費	32,585	20,634	29,535	-	-
	総事業費	161,503	372,706	151,924	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		施設整備の優先順位を明確にする必要がある。
	効率性	A:効率的だった		人員を削減した中でもほぼ予定どおり事業を実施した。
②成果に対する評価	指標名	耐震性能確認済みの浄水処理能力		耐震化事業のため事業完了後まで成果があがらない。
	目標	0	m ³ /日	
	実績	0	m ³ /日	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		長期間にわたる事業であるため、有効性と効率性を十分に検証しながら事業を実施する必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新たな浄水場で採用する浄水処理方法について、実証実験や詳細なライフサイクルコスト比較を行ったうえで決定する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	事前調査業務、専門研究会及び推進検討会の審議の内容を踏まえ、浄水処理の実証実験、事業への民間活力導入可能性調査等を実施し、浄水場更新事業の基本的方針を決定する。			
	H28年度	基本設計を行う。			